

全日本ラリー&全日本ダートトライアル最終戦、「ラリーアート・ドライバー・オブ・ザ・イヤー」表彰式

## 原口真選手 CMSC 鹿児島 今季初優勝を飾る。 全日本ラリー 第8戦Bクラス



今季初優勝の原口選手の激走と喜びの顔。

全日本ラリー選手権第7戦「'96HELOM RALLY MEETING」では、BクラスでCMSC埼玉の田口幸宏選手が3連勝しシリーズチャンピオンに確定したことは、前号でお知らせしました。

続く最終第8戦「第24回M.C.S.C.ラリーハイランドマスターズ'96」は10月12～13日岐阜県大野郡の約430kmのコースにて開催されました。ミラージュ勢の激戦が繰り広げられているBクラスで、田口選手の5勝目を阻止したのはCMSC鹿児島の原口真選手でした。第1、第2ステージをリードした田口選手でしたが、快走にブレーキがかかったのは、ラリー最大のヤマ場となる第3ステージ。ラリー最長8.5kmのダートの登りとなるSS16で原口選手はベストタイム。土壇場の最終SS19でも田口選手を抑えついに逆転し、今季初優勝を果たしました。田口選手は惜しくも2位でしたが、今季全8戦中4勝で堂々のシリーズチャンプ獲得でした。

### ■ ラリーアート・ドライバー・オブ・ザ・イヤー

congratulation!

## ラリー部門：田口幸宏選手 (CMSC埼玉)、 ダートトライアル部門：三枝光博選手 (CMSC岐阜) が受賞。

このたび日本国内・海外のラリーやレースに三菱車で参戦し活躍したドライバーを表彰する「ラリーアート・ドライバー・オブ・ザ・イヤー」の'96年の受賞者が決定しました。CMSCクラブ員からは、上記CMSC埼玉の田口幸宏選手がラリー部門で、そしてダートトライアル部門で全日本ダートラAIIIクラス全8戦中4勝をあげてシリーズチャンピオンに輝いたCMSC岐阜の三枝光博選手が受賞しました。おめでとうございます。'97年もご活躍されることでしょうか。期待しています。



▲表彰式での記念撮影。右端が田口選手、右から4番目が三枝選手。

## 全日本ダートラ最終戦。AIVクラスで荒井信介選手 (CMSC群馬)、 AIIクラスで篠田大作選手 (CMSC岐阜) が優勝。

今季最終戦となる全日本ダートラ選手権第8戦「CHINTAIカップDIRT in KANSAI」は、10月13日大阪府堺市「新日鉄堺ダートウェイ」にて計148台が参加して開催されました。会場は直線と直角コーナーが組み合わされたコースで、コーナーからの立ち上がりスピードと旋回性能が問われる設定。前夜の雨でコンディションが心配されましたが、水はけのよいコースで、優勝の行方はドライとなった第2ヒート勝負となりました。

AIIクラスでミラージュ同士の混戦模様から抜

け出したのはCMSC岐阜の篠田大作選手。第2ヒートでただ一人1分44秒台をたたき出し、今季3勝目をマークしました。今季ポイントランクでは2位の成績でした。

AIVクラスではCMSC群馬の荒井信介選手が第1、第2ヒートとも他を圧倒する速さで今季初優勝。荒井選手は3年連続で最終戦を制しています。ポイントランクでは4位となりました。

両選手、来季も期待できそうです。鋭い走りをまた見せて下さい。



▲篠田選手の好調な走り。  
▲最終戦で笑顔の荒井選手。



## 全国CMSC会員の皆様、 明けましておめでとうございます。

皆様、昨年は如何な年でしたか。それぞれ精一杯頑張って充実した年を過ごされたことと思います。昨年は秋田を加えて21支部となり、どんどん充実

しているCMSC。会員総数も700人を超えており、その活躍は目覚ましいものがあります。このようなCMSCの会員であることにクラブ員の皆様は誇りをもってほしいと思います。

今年も、本部そして皆様もCMSCのメンバーであってよかったなと思える充実した年になるよう、お互

いに努力いたしましょう。



1997年 元旦  
CMSC会長 外川一雄

### CMSC栃木 N1耐久レース参戦記

'96年、CMSC栃木では2つの耐久レースにランサー-EVO IIIで出場しました。8月に行われた「筑波ナイター9時間耐久レース」、もう1つは11月に開催された「SUGO500kmスーパーN1耐久レース」です。

まず臨んだのが筑波でした。過去にまともに走れたことはなく、我がクラブ鬼門のレースでした。何回もの練習走行では何のトラブルもなかったのに、いざ本番で30周を過ぎた頃からガス欠症状発生。チームには重い空気が漂ってきましたが、応急処置でレース続行。他車の脱落を尻目に淡々と周回を重ね、終わってみればクラス3位という予想外の成績に、一同、徹夜の疲れも一気に飛んでしまいました。

これに気を良くして、燃料系の対策を施し、次の菅生に臨みました。ここからメカニックの耐久レースが始まりました。前日の練習走行中、エンジントラブ

## チーム全員の“耐久”レース

ル発生。我がチームにはスペアエンジンなどあるはずもなく、思案のあげくクラブ員の車からエンジンを降ろし、さらに耐久仕様のパーツを組み込んでレース車に載せることにしました。予選前日午後2時のことです。菅生から栃木までレース車を搬送。全員徹夜の作業で、車が出来上がったのは予選日の午前8時。急いで菅生に向かい、車検通過はなんと予選開始30分前。予選51台中決勝進出は45台です。我がチームは最後尾ながら何とか決勝進出。メカニック達に感謝せずにはいられませんでした。

翌日の決勝。始まってみれば今までのトラブルは嘘のように快調な走りです。終盤、クラス5位まで順位を上げ、このままゴール出来るかと思っていた108周目。最終コーナー入り口で他車と接触コースアウトし、コースに復帰出来ず無念のリタイヤ。しかし全員確かな手応えを感じ取り、耐久レースの醍醐味を



実感したレースでした。来シーズンはさらに戦力をアップして'96年を上回る成績を残したいと思います。  
(CMSC栃木 川口法行)

### CMSC愛知 9月29日 山室山ダートトライアル

CMSC愛知では'96年からチーム員にオフィシャルを勉強してもらうため、地域イベントに率先して参加してきました。今回のダートイベントはその中の一戦であり、地域クラブの協力で合同主催の運びとなり、開催できました。イベントは滞りなく終了し、チーム員も何らかの自信と満足を得たと思います。'97年

## クラブ員のオフィシャル修行

は場所が変わり岐阜県に新設されるダートラ場(ダイナランドスポーツリゾート)を舞台に本格的にオフィシャルを行います。予定ですが最終戦は当クラブが主催することになっております。進行にさらに磨きをかけ、イベントを盛り上げ、地域の活性化のお役に立てたいと思っています。お近くの各支部の皆様、開催の折には是非お立ち寄り下さい。

(CMSC愛知 小玉憲司)



### CMSC岩手 10月13日 岩手三菱スリータイヤジムカーナ

去る10月13日、CMSC岩手主催の岩手三菱スリータイヤジムカーナが開催されました。当日は天候にも恵まれ素晴らしいコンディションのもとでの開催となりました。参加台数も76台と最近の県内のイベントとしては、最も多い台数となりました。

エントリーの中には、レース経験のある方からま

## バラエティに富んだイベント

るっきり初心者の方までおり、参加車両の方もエボIII、ミラーージュをはじめ、フォーミュラ・ミラーージュを持ち込んだ人もいて、大変おもしろいイベントとなりました。競技結果の方はそのフォーミュラ・ミラーージュがオーバーオールをとる結果となりました。

表彰式では恒例となった(?)ジャンケン大会で、石油ストーブなどを競って、大変盛り上がりました。

(CMSC岩手 工藤 守)



### CMSC青森 総会報告

ちょっと早めのクラブ総会&忘年会を11月23日に弘前市内のホテルで開催しました。総会は和やかに進められ、'96年の活動報告、会計報告そして次年度の活動計画も確認されました。

'96年はジムカーナのB地区AIIクラスに出場した久保田明選手が堂々のシリーズチャンプを獲得。CIIクラスの小館久選手も全日本で優勝する等、ジ

## 新年度に大きな期待

ムカーナ部門での大健闘が目立ちました。ラリーではCクラス、ランサーで東北シリーズを走った嶋口中也選手も念願のシリーズチャンプになり、'97年も大いに期待が持てそうです。各選手の走りを支えたクラブ員の皆さんに感謝しております。

さて総会は早めに終了。続けて恒例の忘年会。新入クラブ員の紹介もあり、終始楽しい雰囲気でした。

た。最後に'97年のいっそうの活躍を期して、全員手締めで終了しました。(CMSC青森 鶴ヶ谷慶市)

